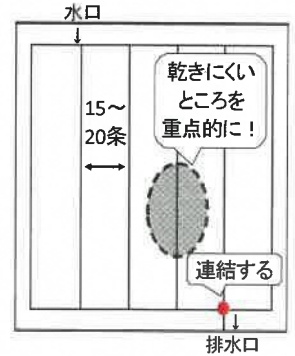




「中干し」は、田植後1か月以内に開始し、登熟を支える根づくりに努めましょう。
溝掘りは田植後25日頃、中干しは田植後1か月までに開始しましょう。

1 中干し前に溝掘りを (営農日誌 P75 参照)

- ・今後の水管理を迅速に行い、生育管理や収穫作業をスムーズに行うため、**溝掘りは、田植後25日頃に確実にいきましょう。**
- ・15~20条に1本を目安に溝を掘り、排水口に連結しましょう。
- ・乗用管理機の場合は2~3日軽く干した後、浅水にして溝を掘りましょう。



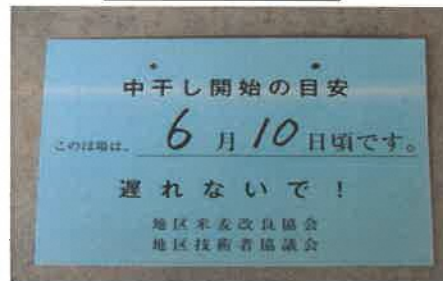
2 中干しは、田植後1か月以内に (営農日誌 P75 参照)

- ・中干しの開始時期は、各地域に設置してある「中干し標示札」を参考にしてください。(5/10~5/15 田植のコシヒカリを中心に掲示しています)
 - ・2~3日の田干しを2~3回繰り返し、干し上げてください。
- ※植傷みしたほ場でも、中干しは遅らせずに、田植後1か月を目安に開始しましょう。

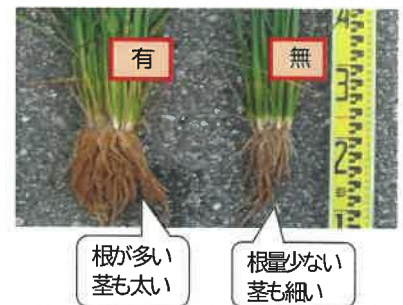
中干し完了の目安



中干し標示札



中干しの有無による根量の違い



*** 水管理の例 ***

田が乾きにくい場合や、雨が続く時は、田干し期間を長くしてください



3 中干し後は、幼穂形成期頃まで間断かん水で (営農日誌 P76 参照)

- ・中干し後は、湛水と軽い田干しを繰り返す「間断かん水」を行きましょう。
- ・干し過ぎは、穂数の減少につながる可能性があるため、注意してください。

4 中間追肥を積極的に施用 (営農日誌 P76 参照)

- ・稲体の充実を図り、不足しているけい酸や加里を補うため、中間追肥を行きましょう。



資材名	散布量	散布時期	
けい酸加里 プレミア 34	20 kg/10a	てんたかく (6月中旬頃) コシヒカリ (6月下旬頃)	ヒタヒタ水(浅水)状態で散布

【 お問い合わせ 】

砺波農林振興センター	農業普及課 砺波班	32-8113		
となみ野農業協同組合	経済部 生産企画課	32-8619	資材配送センター:あぐり館	32-5440
	稲種センター	82-0117	農業機械センター	58-5520